

岡山県知事 伊原木 隆太 様

2017年7月20日
日本共産党岡山県議会議員団
団長 森脇ひさき
日本共産党倉敷市議団
団長 末田まさひこ

要望書

就労継続支援A型作業所は、障害者の雇用促進という点で大事な役割を果たしており現在県内でも急増している施設です。一方、公的資金の特開金や給付金の制度を悪用し「障害者ビジネス」と言われるようなもうけを目的とした運営や、国の制度設計が厳しくなると、事業から撤退する最悪の問題も生じています。

この度の倉敷市の一般社団法人あじさいが経営する作業所において7月末日づけで突然事業所を閉鎖し、通所している障害者約200名が整理解雇される事態となりました。まさに危惧が現実となったものです。通所者の方々から、一枚の解雇通知を受け取り、「理由もわからず解雇されて、これからどうすればよいのか不安」と悲鳴が上がっています。

現在労働局やハローワーク、倉敷市など所管の対応は行われていると聞いています。県としても必要な対応をしていただきたいと思います。まずは、通所者の皆さんの不安を取り除くため、心理的ケアと生活保障、次の施設への紹介などが優先されるべきと考えます。同時に、なぜこのような問題が起こったのか、原因を究明し、次の問題を起こさないようにするべきと考えます。

よって以下の点で要望いたします。

- ① 通所者の皆さんの不安を取り除き、新たな支援（就労）等に結び付けるよう県としても支援の体制を組むこと。
- ② 倉敷市片島のA型作業所の事業所閉鎖について真相解明をすすめ、認可の在り方、監査のあり方を再検討し、今後に生かすこと。
- ③ 県下の他のA型作業所についても、実態調査を行うこと。
- ④ 国に対し、A型作業所の構造的問題を指摘し、改善の意見をあげること。

以上